

# 定例教育委員会会議録

平成28年5月25日

境港市教育委員会（平成28年5月25日委員会会議録）

招集年月日 平成28年5月25日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時26分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基  
③ 酒井 伊津子 ⑤ 永井 美央  
⑥ 赤石 有平

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 藤 川 順 一  
学校教育課長 影 本 純  
学校教育課補佐 高 濱 禎 彦  
学校教育課補佐 門 脇 克 美  
生涯学習課長 黒 崎 享  
教育総務課補佐 小 川 博 史  
教育総務課係長 北 野 瑞 拓

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 北 野 瑞 拓

提出議案 議案第17号 境港市青少年育成センター運営協議会委員  
の委嘱について  
議案第18号 境港市スポーツ推進審議会委員の委嘱に  
ついて

協議事項 教育委員会の点検・評価について  
その他

報告事項 5月の行事報告、6月の行事予定など

酒井委員長

それでは、ただいまから5月の定例教育委員会を始めます。議案第17号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について説明をお願いします。

生涯学習課長

議案第17号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてでございます。青少年育成センターが生涯学習課の所管でございます。市民会館2階に事務局を置いて、青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うことを目的に活動しております。運営協議会はセンターの業務に関する基本計画を協議することを目的として、条例に基づき設置されているものでございまして、このたび6月1日から2年間、委員の任期が更新ということで、17名を新たに6月1日付で運営協議会の委員として委嘱するものでございます。表の下に小学校PTA、中学校PTAなどの委員の順番を記載しております。

酒井委員長

ご質問等はございませんでしょうか。

永井委員

2年前の委員の委嘱の際に意見を言わせていただきましたが、委員の中に女性が1人もいらっしゃらないので、女性とか子育てをされたことのある方の視点があった方がよいのではないかということで質問させていただきました。次の任命の時にはということで、お答えいただいたように思います。委員が充て職になっているので、代表者は男性が一般的に多いのでこういうことになると思うのですが、それも含めて所属団体の見直しも必要なのではないかということも、一応意見として出させてもらったと思うのですが、このたびもそのあたりのところの見直しがなされていないようなので、どうなっているのでしょうか。

生涯学習課長

前回の指摘を、私が承知してなかったというところがあって、同じような形になってしまったということは申し訳ありませんでした。

酒井委員長                   では、次回から考えるということで。

生涯学習課長                人事で人が代わっても、指摘があったことについては、次回改選のときにわかるようにして、次回にきちんと反映させていきたいと思いますので、申し訳ございませんでした。

佐々木教育長                大変申し訳ありません。充て職がほとんどですけれども、例えば校区審議会の場合は、この職からは女性をお願いしますとか、この職からは男性をお願いしますとかというお願いをするのですが、その辺はちょっと考えておかないと、任期が切れた時に同じことが起こりますので、例えばP T Aの会長というところをP T Aの代表にというように、例えば1年ごとに小学校からは女性、中学校からは男性をお願いしたいというような問いかけをする。それから規定によると委員は18名以内でございますので、もう1人までは入れられるので、例えば女性団体連絡協議会から1名新たに加えるとか、今回はそのようにいたしましょうという具合に、約束事を決めておかないと、また同じことが起こりますので、そのようにしたいと思います。申し訳ございません。

酒井委員長                   では、次回からそのようにお願いします。その他ございますでしょうか。

赤石委員                    人数もはっきり明確に、例えば2名以上とか規定してあった方がよいと思います。

生涯学習課長                何パーセント以上とか、県の場合、各種委員の女性の割合が4割とかあります。極力多く女性になるようにしていきたいと思います。

永井委員                    男女共同参画だからというのではなく、やはりいろんな子どもたちと接していく上で、子どもや保護者の方と接

していく場面がある中で、見方が違うところがあると思います。女性としての。そういう役割として必要、この人にだったら話せるという子どもがいるかもしれないし、何かそういう意味で、男性だけではなくて。人数がどうかとなると難しい部分ですが。

生涯学習課長 複数配置しないといけないと思います。

酒井委員長 先ほど所属団体の設定の見直しという話が出ていたのですが、それは考えられるのですか。

生涯学習課長 委員は青少年育成境港市民会議の理事の中から選出することになっているので、極力女性が登用されるように、その辺も考慮して、見直しをしたいと考えております。

酒井委員長 では、次回からそのようにお願いします。では承認ということによろしいでしょうか。（異議なし）それでは議案第17号については承認といたします。

続きまして議案第18号、境港市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、説明をお願いいたします。

生涯学習課長 議案第18号、境港市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてでございます。今回、体育協会の会長が5月13日付で前任の梅木会長から高木敏行会長に代わられました。それに伴いまして、6月1日付ですけれども、市のスポーツ推進審議会の委員を、体協の新しい会長に委嘱したいというものでございます。任期は前任者の残任期間ということで、平成29年4月30日までということとしております。

酒井委員長 ご質問等はありませんでしょうか。（異議なし）それでは議案第18号については承認といたします。

以上で提出議案については終わります。

続いて協議事項ということで、「教育委員会の点検・評

価について」です。報告書をいただいておりますので、審議をしたいと思います。まず質問等がございましたらお願いします。

谷田委員

「職場体験学習」についてですが、協力事業所が今年度101事業所となっておりますが、年々事業所が減ってきており、これについて課題ということでここ近年ずっと新規開拓が必要だ、課題だということで、課題・問題点にずっと挙がり続けていますが、そういう状況の中で年々協力事業所が減ってきているということについては、どういう状況でしょうか。

学校教育課長

昨年度の事業数が107事業所で、今年度が101事業所となっております。多少生徒が減っているということが第1点と、それから事業所さんの方から今年のご遠慮したいと打診した時に言われることもあり、実際は受け入れの事業所が減ったというのが現状でございます。ただ、生徒の多様な体験の場所を確保するためには、やはり色々開拓していかなければならないということは認識しておりますので、そこは学校側と毎回、話をしているところでございます。

谷田委員

特に生徒の選択の幅が広がるという意味で新規業種、新規開拓が広がっていくとよいと思いますが、毎年新規開拓が必要だという話をしていますが、結果として事業所数が減ってきている。そこらあたりが実態としてどうかと思います。

学校教育課長

また来年度、強く学校の方とも協議の時にその件の話をして理解を得たいと思っています。

赤石委員

職場体験の事業所が少なくなっているということで、私も聞いてみたのですが、子どもたちにさせる仕事の内容というのが、例えば衛生管理とかはトラブルが起これば大事になってしまいますので、そういう場所はさせられ

ない。かといって、単純な作業はどうかというところもあるし、どういう仕事をさせればいいのか困っている。そういうこともあって断った事業所もあったと聞いています。自分たちの境港でこういう企業が、こういうものを作っていることを知ってもらうため、来ていただきたいのですが、品質管理がどんどん厳しくなっていってトラブルが起きたり、ましてや作業の中で事故でもあるといけないという不安な部分もあります。

谷田委員

例えばこういう内容でいいので、こういう形で協力してもらえませんかという話があれば、その範囲内であれば協力はさせてもらいますよということもできると思いますので、ある程度このくらいの範囲内でという話をいただくとありがたいかなと思います。

学校教育課長

また来年度始まるときに学校側と協議することがありますので、そこでもう1回今出た意見を含めて、学校側が直接事業所にあたっていますので、その感触も掴みながら、次は7年目になりますから、もう一度その辺も評価し直して、依頼していくという形をとりたいと考えます。

酒井委員長

検討事項がたくさん挙がっていますけれども、内容等についても相談して実施してもらいたいと思います。

次に「市内一斉学校公開」について私の方から、課題や問題点のところ、2学期にできれば中学校区単位で日程を調整させたいというような文言がありましたが、中学校区単位で調整する必要があるのかなと思います。それより地域の方の参加を増やすための手立てが大きな課題ではないかなと思います。それぞれ学校でも個別に案内状等は出していますが、なかなか出てきていただけないのが現状です。

赤石委員

アンケートについて、PTAと連携して、実際学校に来られる方だけではなく、学校に仮に行けない人でもPTAの協力を通じて、アンケートは出していただくような

ことをすれよいのではないのでしょうか。要は学校を知っていただくことが課題ですので、アンケートをPTAと連携して行っているのですか。

学校教育課長

6月の一斉公開については、これはもともと市教委がリードしてやっていた一斉公開日でございます。そのアンケートについては、以前は市教委の方がこの形式でという形で小学校、中学校同じものを求めておりましたが、学校として項目に挙げたいこととか読み取りたいこととか様々でございますので、そこは学校にお任せして、学校でアンケートの形式は変えてもらって実施しておりますので、PTAと協議することはございませんが、2学期のアンケートについては、PTAの意見や内容を協議することは可能ではないかなと思っていますので、そういう意見があったことは学校にお伝えして、PTAの意見も入れながら、特に行事については、そういう集計、やり方をしてもよいのかなと考えております。

赤石委員

そういう風な連携を取られたらもう少しいろいろな意見も集まると思います。

酒井委員長

他に何かありますか。それでは次に行きます。「学力向上事業・よりよい学級づくり事業」についてです。

赤石委員

先般、一斉公開で見させていただきましたが、一番感じたのは先生方の負担が増えているのではないかなと思います。こういう向上事業とか子どもたちのためにはいろいろなことをするのはいいと思いますが、そのためにあまりにも先生方に負担が行き過ぎるというのは考えて行かないといけないと思います。学力向上からは外れるかもしれませんが、8時、9時までするというのがあまりにも多いということになれば、問題ではないかなと思います。

学校教育課長

教員の時間外勤務が先進国の中でも非常に多いというこ



とは報道にも出ております。特に教頭先生にお願いして、先生方の勤務時間が多くならないように、毎年指導しております。委員がおっしゃるように子どもと向き合う時間が一番大切ですので、特に担任さんには、子どもの方に向いてもらって、補担や学年主任等がほかのところをカバーするというチームで、いわゆる学年や学校を運営していくというような考え方で、役割分担をしながら、子どもに向かう時間はちゃんと確保しましょうという形をとっていくというのがとても大事だと考えております。なかなか難しいことですが、それがやっぱりやっていかないといけないことだと思っております。

酒井委員長

では次に行きます。「児童クラブ運営事業」について、何かありますでしょうか。

赤石委員

児童クラブについて、これから6年生まで行くと指導員が少ないってことを言われていると思いますが、例えば学校の経験者の方とか、資格を持った方が退職された後にボランティアで協力してもらうことはどうでしょうか。

学校教育課長

指導員については、公募をかけて募集を行うという形で行っておりまして、欠員があれば募集をかけるということで、これも予算がありまして、なかなか増やせないという現状がございます。今後はまた必要数、補助員の数が必要になってくる可能性がありますので、後々審議して考えて行かないといけないと思っておりますけれども、あと夏休み期間中に、学校の指導補助員さんは仕事がありませんので、児童クラブの方で指導をされませんかという案内はさせてもらっています。

赤石委員

予算もあることですから、ボランティアで入ってもらって、安いかどうかは別として、学校の経験者で資格を持った方がされるといいのかなと思いました。

酒井委員長

次に「目標2：教育力の向上」の中で何かご質問がありましたらお願いします。

谷田委員

「国際理解教育の推進」についてですが、海外に派遣するというのが本来の事業目的だと思いますが、情勢なども加味して国内の、東北の震災の現地研修に振り替えられているということですが、東北の震災の現地研修の中に、国際理解教育の内容というのが入ってなかったと思いますので、評価が概ね順調ということで目標が達成できているという評価になっていますが、ALTの方はしっかりと対応されているでしょうが、そこを踏まえても概ね順調という評価は違和感があります。

佐々木教育長

ここに記載はしてないですが、実は東北の研修と同時にカナダ大使館での研修を行っております。3年間東北に行きましたが、それに伴って、帰ってきたときに東京で、国会議事堂の研修と同時にカナダ大使館に行きまして、以前、北米移民120周年の記念の事業を行いました。それに引き続いて、中海カナダ協会の方のお口添えもいただいてカナダ大使館での勉強を実施しているということでございます。

赤石委員

国際理解教育という中で、私思ったのは英語教育を行って、上手な子もたくさん増えてきたときに、得意になった英語を通じて日本の状況等をみんなに発信する役割もあるのかなと思います。例えば広島というのを本当に世界で初めて被爆というのを子どものときに勉強してもらって、その状況なり、原因も含めて、英語が上手になった子は世界に発信するような役割があると思います。今は何か外国の方と触れ合うだけが中心みたいな気がしているので、広島の研修もいいと思います。

学校教育課長

今年度から小学5、6年生を対象にした英語教室を8月から事業として計画中心でございます。これは英語に親しんで、英語を楽しんでもらう、英語好きを増やすという

ような事業を考えております。ですから小学校の早い時期から生の英語に触れ合う、例えば留学生や大学生に来てもらうことを考えております。境一中の方では、修学旅行のときに境港の英語のパンフレットを持って行って京都で外国の方と会話する、話しかけてみようというような活動をされて、実際に自分たちが伝えられるかどうか試してみようということに取り組んでいる学校もございますし、多分どんどんそういう活動が増えてくるだろうと思いますし、実際に中学生でもどんどん英語を使っていこうという機会も増えてきたと考えておりますので、そういうことも合わせて国際理解の推進というか、それに繋げていければと考えております。

酒井委員長

それでは「目標3：社会教育の充実」というところで、何かありますか。

谷田委員

「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」の実施状況の中の登下校安全指導に関することですが、学校の先生と話をしていると、結構カメラで撮ったりするのが最近が多いみたいでして、昔みたいに不審者といえば、例えばお菓子買ってあげるからついておいでとか、そういうのではなくて、何も発せずにカメラで撮る、顔はもちろん映像で残りますし、名札なんかもついていますので名前もわかりますし、歩いている場所から住んでいる場所も特定されますし、結構それだけいろいろわかると思ったのですが、そういう意味では不審者の行動も昔と変わってきている部分もあるので、現代版の安全指導の検討が必要ではないかと思いました。

生涯学習課長

確かに今おっしゃられたみたいに最近の不審者事案はカメラで撮るといのが多いみたいですが、なかなかその人を特定できていないというのが現状で、見守りの活動をしてくださっている方がかなり増えてきていますが、やっぱりどうしても1人になった状態を狙っている。本当に撮っているか、ロードだったら実はプロ

ンズ像などを撮っているふりをして撮っているというのが考えられるので、そういった最近のケースの情報を得て、情報発信はさせてもらっていますが、いろんな機会を捉えて、不審者情報の最近のケースとかを皆さんに逐一情報提供しながら、件数が減るような努力は引き続きしたいと思っています。

酒井委員長

それでは「目標4：体育・文化の振興」について、何かありましたらお願いします。

赤石委員

「日韓口駅伝交流事業」について、スポーツ交流が主体だと思うので、駅伝に限らずスポーツ交流ですから、韓国の方が日程的に難しいということがあれば、例えばサッカーとかほかの種目に変えてやった方がよいと思います。いつも日程が合わないのに、駅伝じゃないといけないというのがあれば別ですが、駅伝じゃなくてスポーツ交流が中心であるならば、ほかの種目を考えて、取り組んだらどうかと思います。

生涯学習課長

今年度もロシア、韓国の招聘はしているところで、今年度については、検討事項に東海市選手の参加が難しい場合、東海市以外の都市への参加を呼び掛けるとしておりました。東海市が難しい場合は、浦項市に声をかける予定にしております。さっき別の種目と言われましたが、今、サッカーですとアミーゴさんが向こうに行かれて活動されたりとか、ここ2年はされてませんが、あとはクラブセブンティという団体があって、その団体さんがサッカー交流で毎年韓国の高校生を呼んで、地元の高校生と親睦をしたりとかされていますので、駅伝以外にも交流は行われているので、そういったところとも絡めながら今後もやっていきたいなと思っています。

赤石委員

駅伝に限定する理由はあるのですか。

生涯学習課長

DBSクルーズフェリーを利用してもらおうというのが第一の目的ですので、駅伝にとられる必要はないと思います。ただ今駅伝がチーム数も増えてきて、実業団も来るような大会になってきているので、そういったところに国外のチームが来るというのは非常に華もあります。それにロシアのチームは小学生とすごく交流もしてくれているので、非常にいいですね、小学生もすごく楽しそうに競技していますので、いろいろな種目ができればそれがいいですが、そういったことも絡めながら、サッカーだったらアミーゴさんやクラブセブンティがされていることもあるので、そういった輪も活かしつつ、駅伝は続けられれば続けたいなというのがあります。

赤石委員

「小鉄和広コンサート運営補助金」について、声楽だけでなく、他の楽器の方、ピアノであったり、バイオリンであったりとか、ほかの楽器の地元出身の方もいらっしゃると思うので、いろいろな人にチャンスを与えてあげたらいいのかなと思います。

生涯学習課長

そうですね、小鉄さんも毎年できるわけではないので、毎年何かしら目玉になるようなものが一つずつあれば、よいと思います。財団とかと話をしながら、財団の事業でやったり、市の事業でやったりというところも話をしながら、そういった目玉となるようなものが毎年最低1つくらいはあって、そういったコンサートの的なものができればと思います。

赤石委員

いろいろな人にチャンスが与えてあげたらいいなと思います。

酒井委員長

最後は「教育委員会の活動状況」です。無いようなので、この報告書については承認ということでよろしいでしょうか。（異議なし）

永井委員

給食アンケートについて、1点思うのが、やはり保護者の方の意見の中で、家庭でもお弁当作りの負担が軽減されることってということが給食に期待すること、これが34パーセントもあるというのがちょっとショックでした。あと個別の意見の中でお弁当の日を作るべきというのが、少数ではありますが挙がっているようなので、私も家庭での食育教育でもあるし、学校教育の家庭科の一環にもなるでしょうし、給食だけではなくて、自分たちでお弁当を作るっていう日を設けてみてはどうかと思いました。献立を考えたり、買い物をしたり、それを調理することの大事というか、生きる力でもありますし、家族との食を通じた会話の場面でもあるので、こういうこともいずれば行ってみてはどうかと思いました。

赤石委員

アンケートの要望や意見で気になったのは、魚が食べにくい、骨が多い、味とか臭いなどの意見がありましたが、境港の地域性を大切にしていきたい。あと、給食時間が短い。準備するのも、この間少し見させてもらったが、特に小学生の場合は、大変バタバタした中で、配膳をしていて、準備に結構時間がかかるし、アンケートにも時間が足りなくて残すことがあると書いてあるから、給食時間が十分取れるのかなと思いました。

学校教育課長

給食時間は、どの学校も弁当だったときよりは延ばしていると思います。時間割をこの春からは各中学校は延ばしています。

谷田委員

個別意見の中で私も1点気になってところがあって、赤石委員が先ほど言われたことですが、魚のことですけれども、やっぱり境港ですので、できるだけ魚料理は出していきたいのと、骨の対処方法ですけれど、骨が多くて魚が食べにくいという意見で、その対応については納入メーカーの方に骨を除去してもらって、骨のない魚をできるだけ出していくという改善に取り組んでいるところだと書いてありますけれど、魚が、骨があって食

べにくいから骨を抜いたものを出してもらうのではなくて、食育の観点からも骨が付いた魚を、いかに上手に骨を除いて食べていくかという、そっちの観点の方が必要ではないかと思います。

教育総務課補佐

骨の問題につきましては、これもすべて1本1本取るわけではないので、できるだけそのバランスの中で食べやすいようにというような形で、今対応させていただいております。あと実際には骨よりも正直魚の皮が苦手なお子さんが多いようでして、サバなんかですと、骨を残すというよりは、皮をなかなか食べてもらえないということで、臭いなんかの指摘もあったんですが、そこは火加減でパリッとしたような形にできないかなどの工夫は、毎回試行錯誤ですけれども、させていただいているところです。

酒井委員長

給食については、よろしいですか。それでは報告事項に行きたいと思います。

学校教育課長、生涯学習課長 各報告

赤石委員

校区審議会では、今後の境港の将来の学校の再編の方向とか書いてありますが、学校を見させてもらった時に、だいたい昭和40年頃にできた校舎が多いということで、本当に雨漏りがしていたり、壁が落ちてきたりして、私も校区審議会ですぐに結論を出すのは大変だなと思っていましたが、補修をするにしても、方向性を出さないと、全部の学校を直すというのも予算的なこともあるだろうし、かといって、危険な個所を放置したまま子どもたちが学習するのも大変なことだし、方向性を決めないと補修もできないのかなと思いました。

教委事務局長

赤石委員さんが言われるように大規模な改修はやはり方向性を踏まえて、改修を行うような計画に当然なるかと思いますが、現状として、雨漏りとか、子どもの安心

安全の観点から壁が剥離してはがれるということに関しては、当然、計画が10年20年先だろうと、現状危険ですので、市の予算の中で改修は行っております。具体的なことを申しますと、今年も誠道小学校にかなり大きい予算を組みまして、雨漏りの改修とか体育館の壁の改修を行う予定としております。大規模改修は計画の方針を定めて行うこととなろうと思います。

酒井委員長

以上で予定していた議題は終了しましたので、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。